



ファイナルレポート

第 11 回 国際ラボテクノロジー・分析技術・バイオテクノロジー専門見本市

2023 年 7 月 11 日～13 日

中国・National Exhibition and Convention Center (NECC)

2023 年 7 月 13 日

新技術を洞察し、新たなチャンスをつかみ、新たな発展について議論する
analytica China が上海で成功裏に終了

Summary

- 展示面積は約 80,000 平米、前回比 30%増の過去最高を記録
- 8 つの展示エリアが全面的にリニューアル
- 100 件超の併行開催カンファレンス



Facts & Data

会 期	2023 年 7 月 11 日(火)～13 日(木)9 時～17 時 (最終日のみ 16 時まで)
会 場	中国・National Exhibition and Convention Center (NECC)
主 催	Messe München GmbH - メッセ・ミュンヘン Messe Muenchen Shanghai Co., Ltd. - メッセ・ミュンヘン 上海
規 模	80,000 m ² (2020 年度 6 ホール 60,000 m ²)
出 展 社 数	1,273 社 (2020 年度 1,121 社)
来 場 者 数	56,864 人 (2020 年度 23,652 人)
専 門 分 野	分析・ラボ技術、品質管理、バイオテクノロジー、ライフサイエンス、診断技術
主な出展製品	分析・診断機器・処理・技術、クロマトグラフィ・分光分析、検査・測定・品質管理、情報・サービス、ラボ装置・機器・データシステム、試薬・化学製品、バイオテクノロジー、環境保護機器・技術、食品衛生機器・技術
出展日系企業 (現地支社・代理店 出 展 含 む)	アズワン(株)、板橋貿易(株)、SMC(株)、樫山工業(株)、関東化学(株)、(株)キーエンス、京都電子工業(株)、コフロック(株)、ジーエルサイエンス(株)、(株)島津製作所、スガツネ業(株)、東亜ディーケーケー(株)、東京理化器械(株)、東ソー(株)、ナカライテスク(株)、日本エアータック(株)、日本電子(株)、(株)日立ハイテク、PHC ホールディングス(株)、富士フイルム和光純薬(株)、ホソカワミクロン(株)、(株)堀場製作所、ヤマト科学(株)、(株)ワイエムシィ他(50 音順)
専 用 U R L	www.analyticachina.com (英語) www.analyticachina.com.cn (中国語)

ラボテクノロジー・分析技術・バイオテクノロジー・診断技術における第 11 回国際見本市 analytica China は、2023 年 7 月 13 日に National Convention and Exhibition Centre (上海)で成功裏に終了した。

analytica China は、ラボ業界の灯台となる見本市として、技術やノウハウを交換し、新しい形態への洞察を深め、新しい機会を探求し、新しい展開について議論するなど、業界にとって素晴らしい出会いの場となっている。当見本市には、出展者とパートナー企業 1,273 社(2020 年:1,121 社)と業界関係者 56,864 人(2020 年に 23,652)が集まった。総面積約 80,000 m²(2020 年:60,000 m²)にのぼる 8 つの展示エリアで、900 点余りの新規展示品、革新的テクノロジー、最先端のソリューションが紹介された。見本市のハイライトである二重没入型未来ラボラトリー(ライブ・ラボ)は、多くのプロフェッショナルを引き付けた。



メッセ・ミュンヘン上海 COO の Stephen Lu は、インタビューに応じて、「今年の analytica China は、展示面積と出展者数において目覚ましく躍進した。第一に、総展示面積は約 8 万平方メートルで、前回より 30%増え、過去最高を記録した。第二に、ライフサイエンス、バイオテクノロジー、診断技術、およびラボの計画と建設は、ラボの形態とそのライフサイクルを絶えず変化させ、意義深い進歩を遂げてきた。第三に、この見本市では、900 点を超える初公開品の展示と、世界各国および中国でデビューした 116 点の新発売製品が紹介され、迅速なビジネスマッチングの架け橋となった。なお、今年、analytica China は Labtech China Congress と再度協力してこの壮大な見本市を開催した。今後も見本市を活用して、デジタル・インテリジェント・ラボにおいて業界に活力を与え、業界の持続可能な発展への強力な推進に寄与していく」と述べた。

新製品の「インキュベーター」、「ブースター」として、8 つの展示エリアをフルリニューアル

analytica China は、そのユニークなコンセプト、専門組織、そして業界への強い影響力で、国内外から多くの有名企業から、強い関心を集めている。多くの企業が、analytica China を新製品や新サービスの理想的な「インキュベーター」や「ブースター」とみなしており、見本市は新製品、新技術、新サービスの壮大な集合体となっている。

株式会社島津製作所・中国の Jiexiang Hu 氏は、「当社は、analytica China に 2010 年から参加しており、今回で 7 回目となる。この見本市で最も印象に残っているのは、非常にプロフェッショナルだということ。全体構成はよく練られており、効果的に実施されている。開会前の準備においても、閉会後の評価や顧客調査の結果を見ても、素晴らしい成果をもたらす活動であったことが分かる。その優れた組織活動により、次回の見本市は、専門的フォーラムと見本市全体計画において、より大きく躍進することを期待している」と、所感を述べた。

特別展示エリアの拡張とアップグレード 将来のインテリジェントラボにおけるデジタル 変革の新たな方向を導く

今年の見本市では、「ライフサイエンス・バイオテクノロジー・診断」、「分析・品質管理」、「サンプル処理・一般ラボ機器」、「ラボの設計・建設・管理」、「ラボの安全性」、「国軍コアエリア」といった例年好評の 6 つの基本展示エリアを設けている。

一方、「ラボラトリーオートメーションとデジタル化」と「ラボ機器のコアコンポーネント」の 2 つの主要分野では、より多様な製品を展示するために、新製品やテクノロジー、サービスを含め



た包括的なアップグレードが行われた。また、8つの展示エリアが全面的にリニューアルされ、展示品が的確に分類されて適正に配置されたことによって、来場者に対して、より便利で効率的な体験を提供することができた。



ラボラトリーオートメーションとデジタル化の分野には、ラボラトリーオートメーション機器、ラボラトリーオートメーション・ワークステーション、ラボラトリーオートメーション測定、ラボラトリーデータ管理、ラボラトリーオートメーションのソフトウェアとシステム、ラボラトリー画像処理の自動化、ラボラトリーロボット、そのほか関連技術と製品が含まれる。

当見本市では、ラボラトリーオートメーションとデジタル化の分野における新製品、テクノロジー、アプリケーション、ソリューションを、製品展示と併行開催のカンファレンスとの2つの方法で紹介し、これからのラボラトリーのインテリジェントな進展を後押しし、ラボラトリーにおけるテクノロジーと研究開発との革新を促すことに寄与してきた。ラボ機器のコアコンポーネント展示エリアでは、環境モニタリング、食品安全、ライフサイエンス、体外診断(IVD)、バイオテクノロジーなどのホットなトピックを取り上げ、完成機器メーカー、ソリューションプロバイダー、科学研究機関、研究所などに科学機器とコアコンポーネントのトータルソリューションを提供した。そして、中国国内および国際市場から有力な出展者を集めて、今後の研究所におけるインテリジェントでデジタル化による発展の促進、キーテクノロジーのブレークスルーの実現、さらに、サプライチェーンの安全性、コスト削減、そして効率向上の確保を考えている。

中国の力を示し、中国製造業の台頭を支える国産機器

中国の分析ラボ業界には測り知れない潜在力と旺盛な需要があり、世界の産業成長の重要な推進力となっている。巨大市場の需要と発展のポテンシャルに鑑みて、ハイエンド機器の成長を促し、国内外市場間でのコネクティビティやリソース共有、技術進歩を奨励し、中国における分析ラボ産業の発展を促進することは極めて重要である。ますます多くの優れた中国企業が台頭するにつれて、独自のイノベーション能力の強化と、外国の技術から学ぶことの重要性が増している。このような取り組みは、中国の分析ラボ業界の活力ある発展に知力と強さを付加し、徐々に世界の舞台へと押し上げている。注目の China Force Core Area には、中国国内の主要な機器ブランドの「中国の力」が集結し、中国が最先端の科学技術とハイエンドの機器開発で成し遂げた画期的な成果を明示した。

ライフサイエンス分野の新しいアプリケーションを蓄積し、生物学のためのワンストップサービスとコミュニケーションプラットフォームを構築

医療検査、ワクチン研究、医療機器、伝統的漢方医学など、様々な分野の国家開発戦略や市場動向に密接に対応するため、ライフサイエンス・バイオテクノロジー・診断の展示エリアは、analytica China の主要展示エリアのひとつである。そして、ライフサイエンス研究、ヘルスケア、臨床診断、革新的な医薬品開発に対応するオールインワンのサービスとコミュニケーションプラットフォームの構築を目的としていた。

そのため、analytica China では、有名企業がライフサイエンス分野の先端機器、生化学試薬、診断機器・試薬、消耗品、アクセサリ、技術サービスを展示した。

また、バイオテクノロジーと R&D サービスの展示エリアがホール 8.2 に設置され、展示品とその応用分野とに分けて紹介された。このエリアでは、併行開催のフォーラムやトレーニング・セッションが組み合わせられたことによって、出展者とユーザー間の交流が一段と深められた。



100 件超の併行開催カンファレンスがホットピックに独自の洞察を付加

この見本市では、ラボラトリー建設、ライフサイエンス、バイオテクノロジー、診断、トランスレーショナルメディシン、バイオ医薬品、食品安全、環境分析・検査、サンプル前処理など、ユーザーが特に関心を寄せる最先端のトピックを掘り下げた 100 件を超える専門テーマ別レポートが提供された。そして、多くの著名な業界の専門家や学者が参加し、知的交流を深める注目すべき講演が並んだ。

ラボ業界の展示モードを継続し、総合的アプローチでラボのライフサイクル全体をサポート

ラボの設計、建設、管理における analytica China の拡大領域で、labtech China Congress は、12,000 平方メートルという大規模なラボ展示エリアで開催されたラボの建設とワークショップのハイレベルなサミットとして、ラボの設計、建設、管理に関する革新的テクノロジーと新たなトレンドを深く掘り下げた。マルチテーマのフィールドミュレーションラボ（ライブ・ラボ）は、業界のトレンドに会場内の製品デモンストレーションを統合させ、参加者と出展者に没入型の体験と効率的な交流の機会を提供した。このライブ・ラボは、ラボ業界初の labtech China Congress によって導入された革新的な「exhibition + conference」形式を採用しており、ラボの構造、家具、暖房と換気、清潔感、保管、機器、安全性、インテリジェンスなど、科学研究の生態系とラボの完全なライフサイクルに、多角的に貢献している。



次回 analytica China 2024 は、2024 年 11 月 18 日から 20 日まで、Shanghai New International Expo Centre で開催予定。

詳細は、見本市の公式ウェブサイトをご覧ください: www.analyticachina.com.cn.

資料請求、各種お問い合わせ先: メッセ・ミュンヘン 日本代表部

株式会社メッセ・ミュンヘン・ジャパン

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 3-20-3 ノアーズアーク虎ノ門 5 階

Tel.: 03-6402-4583 Fax: 03-6402-4584 E-mail: info@messe-muenchen.jp

URL: www.messe-muenchen.jp (日本語) www.messe-muenchen.de (英語 / ドイツ語)